



## 市消防本部訓練塔が完成しました

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災した消防庁舎建築に伴い、解体された訓練塔が、今年3月22日に完成し運用を開始しました。

訓練塔は主塔と副塔の2塔が建築され、敷地内にはヘリポートが設置されています。また、大震災を忘れずに後世に伝えていくため、災害記念碑が建立されました。東消防署では訓練塔がない期間、車庫や庁舎敷地内スペース、西消防署訓練塔等を利用して訓練を行ってききましたが、消防本部訓練塔が完成したことで、幅広い訓練が可能となりました。主な訓練内容として、火災・救助想定訓練、高所・低所からの救出訓練、ロープ渡過訓練※、マンホール等の閉所からの救出訓練、梯子登はん訓練などがあります。また、設備として屋内・屋外階段、室内を迷路のようにするための開閉可能な壁、ベランダ、連結送水管等が設置され、建物内外で火災現場を想定した訓練もできるようになりました。



◀災害記念碑

※ロープ渡過訓練…建物や河川等に進入困難な場合や、災害の拡大により緊急に脱出するためロープを展張し、それを渡る訓練です。消防吏員として欠かすことができない平衡感覚や、体力、筋力を養う訓練です。



▲訓練塔全景



▲主塔



▲副塔

## 竣工式（3月30日）の様子

昨年7月から工事が進められてきた訓練塔の竣工式には、三次市長や秋山市議会議員、鈴木県議会議員、市消防団や地域住民約80人が出席し、「東日本大震災被災伝承の碑」の除幕式やテープカットが行われました。その後、新設された訓練塔で訓練の実演を披露し、その俊敏な動きや見事な連係に、出席者からは感嘆の声が漏れていました。



▲式典の様子



▲訓練塔の前でテープカット



▲実演する隊員